



おだ学園保育通信



日本には一年の中で春、夏、秋、冬と自然を感じる四季があります。
朝、「あつつい!」「あつつい!」と登園してきたけん君。本当に暑い今年の夏でした。

楽しさいっぱいの夏

「おだファーム」の土を利用して枝豆の種を蒔きました。朝顔の花も咲きました。毎日、朝はお日様に当てるために外に出して、夕方には園内にしまします。お水もたくさんあげました。愛情いっぱいにお世話をしたので蔓はぐんぐん伸びて支柱は、散歩で探してきた棒を立てました。しばらくすると小さな枝豆ができて「かわいいね～」と触っているうちにあつという間にしっかりとした枝豆が数個。幼児は、茹でた貴重な枝豆を大事そうに両手でしっかりとつかんで食べていました。

*大きなスイカひとつ登場

小さい人たちや周りの大人が見守る中、ばんだ・もり・そら組の一人ひとりが棒を持って、「えい!」っとスイカを叩きます。思いっきり棒でスイカを叩く人。棒をもっただけでドキドキ立ちすくんでしまう人…思いはそれぞれです。でも給食でいただいたスイカはみんな一緒。ワイワイ応援して参加して、見事にパカッと二つに割れたスイカ割りの思いを胸に美味しくいただきました。

*水遊び

日中は熱中症警戒アラートとにらめっこ。今日もお外にはでられません。そんな時、エントランスでビニールプールを準備して、水遊びをしてみてもいいかと保育者は考えました。お風呂用の子ども椅子をプールの中に入れることで手足でバシャバシャと水の感触を楽しみます。だんだん解放感もでてきて保育者にもばしゃーん!と水をかける子も。色水遊び、泡遊び…と毎回大騒ぎの水遊びはまだ続きそうです。

*園内を飛び回る大きなセミ

大きなセミの羽をつけて飛び回るばんだ組の人たち。「ミーンミーン」と鳴きやまないセミたち。時には「ジージー」とセミの声を聴き分けているれいいち君に驚かされました。

*夏祭り

保育者達はまだまだ考えます。とどめは夏と言ったら…夏祭り!各年齢に時差を付けながら金魚すくいや流しそうめんもどきの玩具流しと玩具すくい、音楽に合わせて踊りだす子も…法被を着た幼児さんや給食室の人たちも参加して子どもも職員もみんな笑顔いっぱいの時を過ごしました。

夏だからこそできる遊びをたくさん経験し、繰り返し遊ぶことがそれぞれの学びにつながっていきます。
こんな時期ですが、楽しさいっぱいの夏でした。来年は、お家の方たちも一緒に楽しめるといいですね。

ポータルフォリオについて

ご協力ありがとうございました。ご家庭からコメントを頂きながらお子様の育ちを共有できる機会となりました。次回は12月を予定しています。

保護者会を予定しています

保護者の方々にとって園を知っていただく機会が中々できない状況にあります。子どもの成長の嫌々期に突入されているお子さんもいるようです。保護者会の中で、お互いのお子様同士を知る機会になりますので、是非ご出席をお願いいたします。